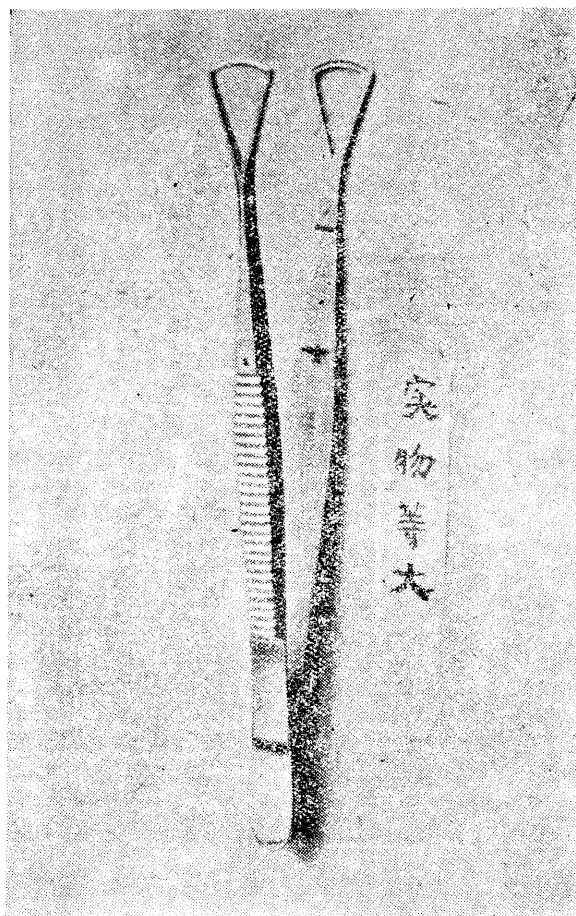


久保田式「トラホーム」鑷子
改良

久保田 保治

「トラホーム」ノ治療上單ニ藥物的療法ハ餘リニ長日月ヲ要シ加之尙ホ到底完全ナル治療ヲ期待スルコト能ハズ。之ガタメ現今更ニ手術的療法ノ賞用サルルニ至リシ所以ニシテ其手術的使用ノ器械タルヤ已ニ幾多ノ諸氏ニヨリテ案出

久保田式改良「トラホーム」鑷子



セラレタル多數ノ鑷子アリト雖モ、何レモ一長一短ヲ免カレズ。從テ予ノ理想ニ隔ツルノ感アルヲ遺憾トス。之ニ於テ本器(寫真圖)ハ予ガ數年來比較研究ノ結果案出シタルモノニシテ「トラホーム」治療ノ第一歩タル顆粒ノ除去ニ向ツテハ萬々遺漏ナク實用上最適當ナルモノト信ジ敢テ諸彦ノ批判ヲ乞フ所以ナリ。

本器ノ特長ヲ舉グレバ左ノ如シ。

一、消毒簡單ニシテ堅牢ナルコト。

原著 久保田 久保田式改良「トラホーム」鑷子

二、鑷子ノ尖端即チ基底部ハ眼瞼縁ノ顆粒ヲ壓出スルニ適ス。其兩隅角ハ顆粒ノ最モ多ク潜在シ、且ツ除去困難ナル内外眥部結膜ノ顆粒除去ニ向ツテハ、容易ニ且ツ完全ナリ。

三、鑷子ノ基底兩脚ノ接着面ニ各一條ノ溝アリ、之レ本器ノ特長トモ云フ可キモノニシテ使用ノ熟練ニヨリテ顆粒壓出ノ際結膜ノ滑脱ヲ防ギ然カモ顆粒ノミヲ壓出シ得テ毫モ結膜ノ離斷等ヲ來ス患ヘナシ。

四、局所麻醉トシテ少シク濃度ノ「コカイン」水點眼ノミニテ婦人、小兒ト雖ドモ無痛性ニ且ツ容易ニ施行シ得ラレ敢テ必ズシモ結膜下注射ヲ要セズ。